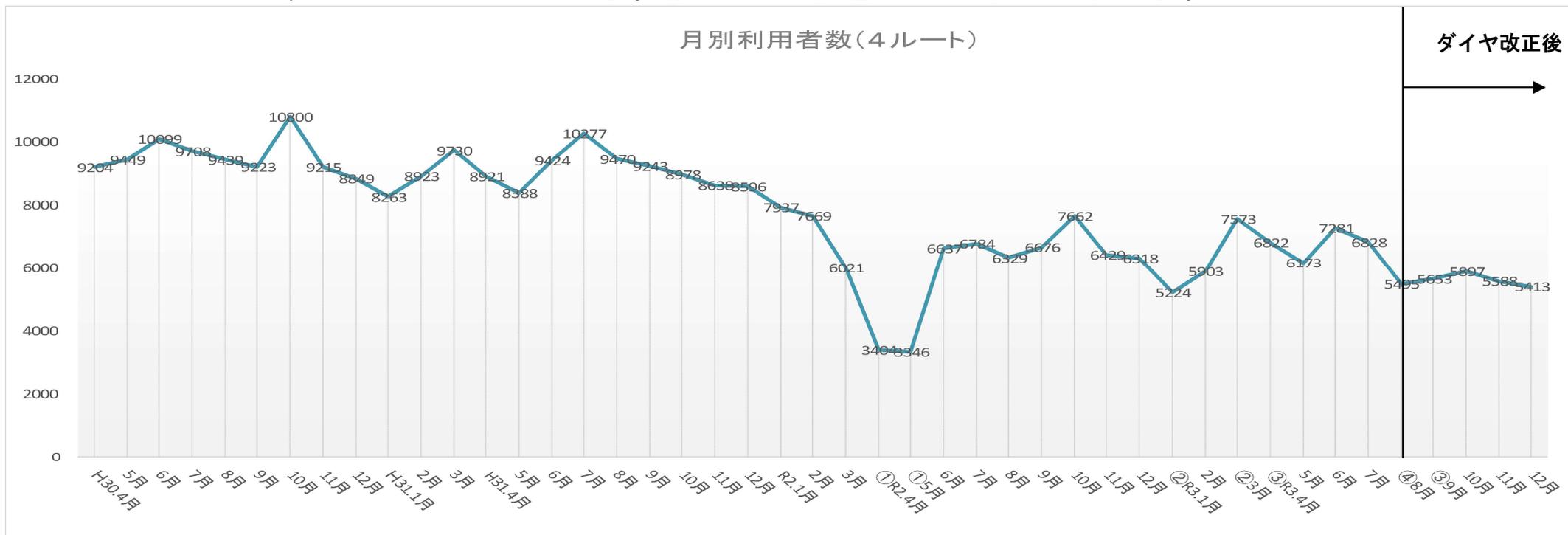


報告1 白井市コミュニティバスの新ルート・ダイヤ改正後の利用状況等について

- 新ルート・ダイヤによる令和3年8月から12月までの利用者は、28,046人でありコロナ禍の影響もありますが前年度は、5ヶ月間で33,414人であった為、同月比ではマイナス16.1%となっています。詳しくは下記のとおりとなります。



(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比
H30	9,204	9,449	10,099	9,708	9,439	9,223	10,800	9,215	8,849	8,263	8,923	9,730	112,902	
H31	8,921	8,388	9,424	10,277	9,470	9,243	8,978	8,638	8,596	7,937	7,669	6,021	103,562	-8.27%
R2	3,404	3,346	6,637	6,784	6,329	6,676	7,662	6,429	6,318	5,224	5,903	7,573	72,285	-30.20%
R3	6,822	6,173	7,281	6,828	5,495	5,653	5,897	5,588	5,413	-	-	-	55,150	2.92%

新ルート・ダイヤ変更後
8月から12月の比較 (人)

R2	33,414	
R3	28,046	-16.1%

(対前年4月-12月)

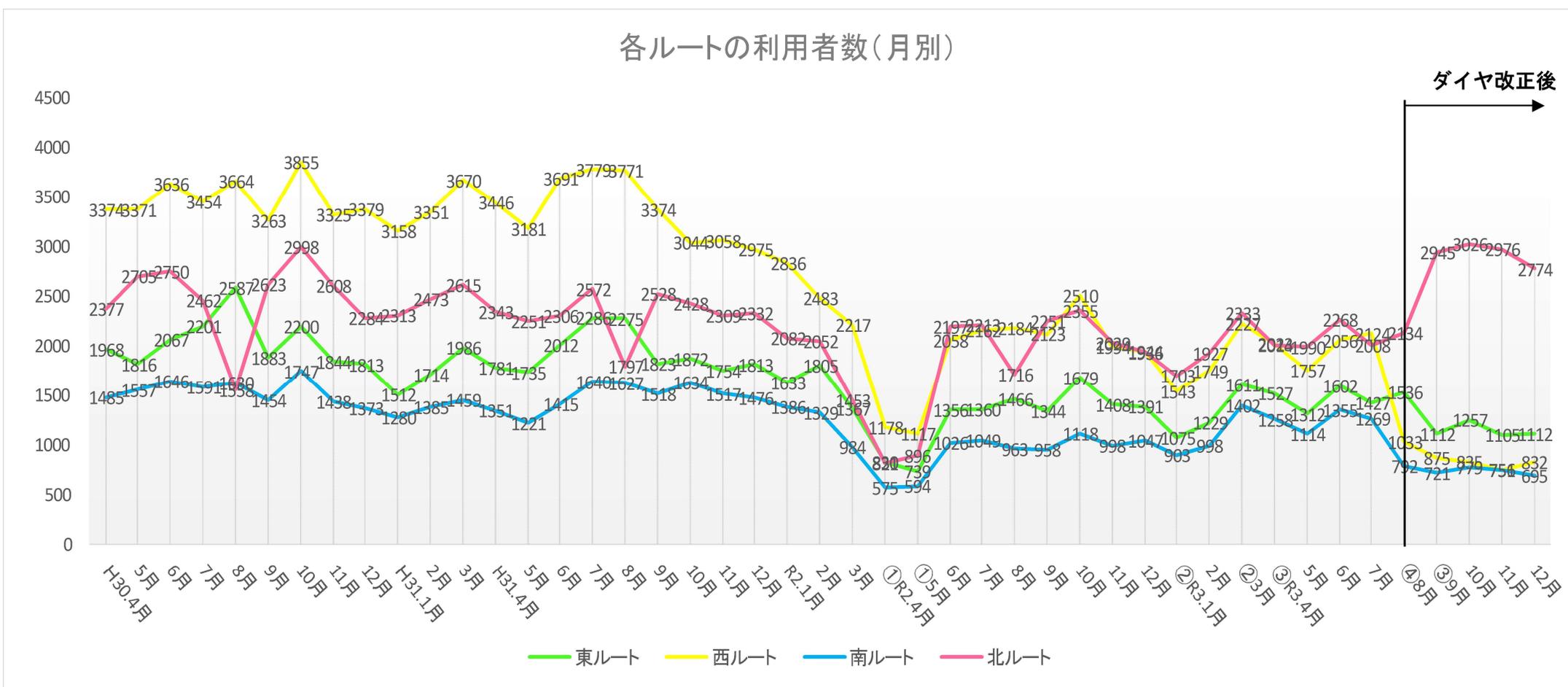
新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間	
①	令和2年4月7日から令和2年5月25日まで
②	令和3年1月7日から令和3年3月21日まで
③	令和3年4月23日から令和3年9月30日まで

④ 令和3年8月1日より新ルート・ダイヤ変更(無料キャンペーン期間 8月2日から25日)

市では、新たなルート・ダイヤを市民の皆さんに体験してもらうため、8月2日から25日までの日曜日を除く20日間にて無料でナッシー号に乗車できるキャンペーンの実施を行い、延べ4,609人利用がありました。

・各ルート別の利用者は、東ルートでは6, 122人で対前年度同月比マイナス16.0%となっています。西ルートでは4,326人で対前年度同月比ではマイナス59.7%となっています。南ルートでは3,743人で対前年度同月比ではマイナス26.4%となっています。北ルートでは13,855人で対前年度同月比ではプラス34.6%となっています。

東、西、南の3ルートでは、利用者減となっています。ルート変更後については、新鎌ヶ谷方面や市内病院への停留所を廃止したことから利用者の減少を想定していました。また、新型コロナウイルスがもたらす影響については想定できていませんでした。



各ルート別利用者数（月別）

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
東	H30	1968	1816	2067	2201	2587	1883	2200	1844	1813	1512	1714	1986	23,591	R2 8-12 7,288人
	H31	1781	1735	2012	2286	2275	1823	1872	1754	1813	1633	1805	1367	22,156	R3 8-12 6,122人
	R2	830	739	1356	1360	1466	1344	1679	1408	1391	1075	1229	1611	15,488	対前年度 -16.0%
	R3	1527	1312	1602	1427	1536	1112	1257	1105	1112	0	0	0	11,990	
西	H30	3374	3371	3636	3454	3664	3263	3855	3325	3379	3158	3351	3670	41,500	R2 8-12 10,747人
	H31	3446	3181	3691	3779	3771	3374	3044	3058	2975	2836	2483	2217	37,855	R3 8-12 4,326人
	R2	1178	1117	2058	2162	2184	2123	2510	1994	1936	1543	1749	2227	22,781	対前年度 -59.7%
	R3	2023	1757	2056	2124	1033	875	835	751	832	0	0	0	12,286	
南	H30	1485	1557	1646	1591	1630	1454	1747	1438	1373	1280	1385	1459	18,045	R2 8-12 5,084人
	H31	1351	1221	1415	1640	1627	1518	1634	1517	1476	1386	1329	984	17,098	R3 8-12 3,743人
	R2	575	594	1026	1049	963	958	1118	998	1047	903	998	1402	11,631	対前年度 -26.4%
	R3	1258	1114	1355	1269	792	721	779	756	695	0	0	0	8,739	
北	H30	2377	2705	2750	2462	1558	2623	2998	2608	2284	2313	2473	2615	29,766	R2 8-12 10,295人
	H31	2343	2251	2306	2572	1797	2528	2428	2309	2332	2082	2052	1453	26,453	R3 8-12 13,855人
	R2	821	896	2197	2213	1716	2251	2355	2029	1944	1703	1927	2333	22,385	対前年度 34.6%
	R3	2014	1990	2268	2008	2134	2945	3026	2976	2774	0	0	0	22,135	

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間	
1回目	令和2年4月7日から令和2年5月25日まで
2回目	令和3年1月7日から令和3年3月21日まで
3回目	令和3年4月23日から令和3年9月30日まで

バス停ごとの利用者数

《R3年度4月から7月》 旧ルート						《R3年度8月から11月》 新ルート					
順位	バス停番号	バス停	乗車	降車	合計	順位	バス停番号	バス停	乗車	降車	合計
1	7	西白井駅	5,095	4,871	9,966	1	4	西白井駅	3,724	3,818	7,542
2	1	白井市役所	3,468	3,136	6,604	2	7	千葉ニュータウン中央駅北口	1,932	2,037	3,969
3	14	新鎌ヶ谷駅	2,612	2,882	5,494	3	1	白井市役所	1,947	1,771	3,718
4	87	第二小学校	937	1,995	2,932	4	5	白井駅北口	1,507	1,321	2,828
5	42	千葉ニュータウン中央駅北口	1,434	1,399	2,833	5	6	白井駅南口	1,184	1,276	2,460
6	25	白井駅南口	607	715	1,322	6	74	第二小学校	818	1,531	2,349
7	78	白井駅北口	597	580	1,177	7	75	白井の湯	586	620	1,206
8	98	平塚本郷集会所	813	206	1,019	8	91	平塚本郷集会所	739	310	1,049
9	13	大松集会所	570	447	1,017	9	95	白井聖地公園	453	452	905
10	11	けやき台	455	487	942	10	3	フォルテ白井(旧念仏塚)	379	474	853

※ 令和3年8月1日より新ルート・ダイヤ変更
 (無料キャンペーン期間 8月2日から25日)

・市のコミュニティバス「ナッシー号」は、利用しやすく持続可能な市内の地域公共交通網を形成するため、市民、交通事業者、学識経験者等で構成された協議会において、運行ルート・ダイヤの見直しについて議論を重ね、令和3年8月2日（月）から新たなルート・ダイヤでの運行を開始しました。変更の開始前後には、廃止ルートに対する意見や各種の問い合わせ等が47件ありました。主な内容は次のとおりです。

ご意見を受けた期間 5月12日から8月31日

	新鎌ヶ谷行きに関する事	新鎌ヶ谷行以外のルートに関する事	ダイヤに関する事	その他
電話/窓口	23件	20件	9件	12件
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌ヶ谷方面への廃止で不便となる ・利用者が多い路線の廃止は納得できない ・代替手段を希望する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート変更に伴う系統の確認及び廃止バス停の代替バス停の確認 ・近くにバス停が出来て良かった ・千葉NT方面への便が増えて良かった ・従来ルートより目的地への時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻（ダイヤ）の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・回数券の払い戻し方法の確認 ・昔買った回数券はそのまま利用できるか ・ルート・ダイヤマップの配布場所が知りたい ・新規のバス停周辺にゴミがポイ捨てされないか不安

※複数の意見あり

・次に、各公共交通においては、新型コロナウイルス感染症の影響が未だに続いています。人流の減少、在宅勤務等の働き方の変化による利用者減少等により事業の経営に大きな影響を及ぼしています。路線バスやタクシーの利用者では、対前年度比で約30%減少しています。鉄道においても対前年度比で約25%減少とのことです。

公共交通をとりまく環境は厳しさを増してきており、自家用車の普及や人口減少、少子高齢化の進展などにより利用者が減少し、サービスの縮小や低下が懸念され、公共交通の維持・確保が大きな課題となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響による人流抑制や就労形態の変化による「新しい生活様式」の実践等による生活変化の状況を踏まえ、限りある交通資源の効率化を図り、関係者との役割分担と協力のもと、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークを形成するとともに、地域公共交通の活性化を推進していく必要があります。